



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日
東

上場会社名 石光商事株式会社 上場取引所
コード番号 2750 URL <https://www.ishimitsu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石脇 智広
問合せ先責任者 (役職名) 経営役経営戦略室長 (氏名) 北川 克史 (TEL) 078-861-7791(代表)
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	30,780	8.5	720	△14.9	823	△15.6	579	1.8
2023年3月期第2四半期	28,358	29.2	845	46.9	976	63.1	569	42.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 914百万円(12.0%) 2023年3月期第2四半期 817百万円(90.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	74.97	—
2023年3月期第2四半期	73.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	38,041	12,808	29.5
2023年3月期	36,174	13,306	29.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,216百万円 2023年3月期 10,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,868	1.5	1,255	△4.7	1,340	3.4	900	13.6	116.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	8,000,000株	2023年3月期	8,000,000株
2024年3月期2Q	255,703株	2023年3月期	277,901株
2024年3月期2Q	7,734,229株	2023年3月期2Q	7,716,214株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられたこともあり経済活動の正常化が一層進み、物価の上昇傾向は強まりつつありますが、インバウンド需要の回復、雇用・所得環境の改善等もあり、景気は緩やかな回復傾向にあります。

海外に関しては、米国は雇用・所得環境の改善により個人消費等が底堅く推移しておりますが、欧州は高インフレ及び利上げの影響により、景気はこのところ足踏みが続いております。中国では個人消費の回復が低迷する等、景気は減速傾向にあります。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましては、外食産業は人手不足や原材料の高騰等の影響を受けておりますが、個人消費の回復やインバウンド需要により、売上が昨年に比べて増加しております。

当社グループの業績に影響を与える為替相場におきましては、期初1ドルあたり133円台で始まり、米国の連邦準備制度理事会（FRB）による利上げの実施等によりドル高円安基調が強まり144円台まで円安が進みました。その後日銀による政策修正観測の高まりを受けて一時138円台まで円が持ち直しましたが、再び日銀の金融緩和長期化の観測が強まりドル高円安が進み9月末では149円台となりました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー相場は期初1ポンドあたり170.50セントからスタートし、投機筋の動きにより一時的に200セントを超えましたが、その後最大生産国であるブラジルの収穫が終始順調に進み、前年比増産見込みであること、また天候懸念も少なかったことにより下落し、9月末では146.15セントとなりました。

このような状況のなか、当社グループは、前連結会計年度からスタートさせた中期経営計画「SHINE2024」で掲げている、GHG（温室効果ガス）を削減しながら、社会課題解決商品の開発に積極的に取り組み、事業の持続的成長を目指しております。当第2四半期連結累計期間においては、一部の子会社において前年同期にあったスポットの収益がなかったこと、足元のコーヒー相場反落の影響を受けた販売価格下落により利益率が低下していること等により、前年同期比で減益を余儀なくされました。しかしながら、これらの減益要因は前回予想にも織り込み済みであり、そうしたなか、特に当社に関し、外食業界の需要回復に加えて円安の影響による仕入価格の上昇を販売価格引き上げに繋げたことに伴い、売上高、利益ともに当初の予想を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は30,780百万円（前年同期比8.5%増加）、売上総利益は3,988百万円（前年同期比2.5%増加）、営業利益は720百万円（前年同期比14.9%減少）、経常利益は823百万円（前年同期比15.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は579百万円（前年同期比1.8%増加）となりました。

各事業別の状況は次のとおりであります。

① コーヒー・飲料事業

1) コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、これまでのコーヒー相場の高騰及び円安傾向により販売価格は上昇しておりますが、著しい価格競争を避け、また前年同期にスポット販売した顧客への売上が今期なかったことにより、売上高が減少いたしました。

飲料原料は、円安により販売価格が上昇したことに加え、飲料メーカー向けの販売が好調だったことにより売上高が増加いたしました。

その結果、コーヒー飲料原料の売上高は前年同期比1.1%増加いたしました。

2) コーヒー飲料製品

アフターコロナにより外食需要・観光事業向けレギュラーコーヒー等の業務用需要は回復基調ですが、これまでのコーヒー相場高騰及び円安傾向に伴うリニューアルや値上げの影響で、主力のコーヒーバッグや飲料メーカー向けのバルク販売が伸びず、販売数量は減少しています。

その結果、コーヒー飲料製品の売上高は前年同期比0.4%の微増となりました。

これらの理由により、コーヒー・飲料事業の売上高は11,386百万円と前年同期比0.7%の微増となり、売上総利益は1,631百万円と前年同期比6.1%の減少となりました。

② 食品事業

1) 加工食品

ドライ商品は、量販店向けのトマト製品、メーカー原料・給食業態・製菓工場向けへのフルーツ缶詰等の販売量が増加し、各商品群の価格改定もあり、売上高は前年同期比24.2%増加いたしました。

フローズン商品は、中国産ポテトの取り扱いが増加し、既存の量販惣菜業態、小売業態・外食業態への販売が増加傾向で推移し、外食チェーン向け大型商品の価格改定・市場の復調もあり、売上高は前年同期比20.7%増加いたしました。

メーカー商品は、ドライ・フローズンともに、外食向けの販売が引き続き回復に向かい、売上高は前年同期比12.8%増加いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比18.0%増加いたしました。

2) 水産

水産は、主力のエビ関連が外食業界の需要回復により販売が増加したことに加え、円安による販売単価上昇により売上高が増加いたしました。また、工場で使用されるイカ原料の販売が増加いたしました。一方でタコ関連は価格高騰の影響により既存得意先の需要が減退し、売上高が減少いたしました。

その結果、水産の売上高は前年同期比3.5%増加いたしました。

3) 調理冷食

調理冷食は、引き続き量販店を中心に堅調な惣菜需要に下支えされ、ロースト商品、フライドチキン等の定番商品の売上が増加いたしました。一方で円安による商品仕入れ価格上昇に伴い販売価格に影響が出ております。一部、顧客で取り扱い中止、又は廉価版の商品への切り替えが進みました。

その結果、調理冷食の売上高は前年同期比13.7%増加いたしました。

4) 農産

生鮮野菜は、国産玉葱が安値で推移した影響により海外産玉葱の販売が減少いたしました。また牛蒡の販売量も減少いたしました。

農産加工品は、トマトペーストの輸入コスト上昇により販売単価が上昇したことに加え、得意先のシェアが拡大したことにより販売金額が増加いたしました。また蓮根関連商品につきましても、新規開拓、既存得意先のシェア拡大が成功し、販売数量、販売金額ともに増加いたしました。一方で唐辛子は該当期の納品数量が減少した為、販売金額が減少いたしました。

その結果、農産カテゴリーの売上高は前年同期比5.4%減少いたしました。

これらの理由により食品事業の売上高は13,624百万円と前年同期比7.3%の増加となり、売上総利益は1,735百万円と前年同期比17.0%の増加となりました。

③ 海外事業

相次ぐ大幅な値上げにより輸出商品が安い商品に置き換わる傾向が強くなっておりませんが、きめ細かな販売努力により、輸出売上高は前年同期に比べ微増となりました。中国現地法人においては生豆の出荷量こそ大幅に増加しているものの、足元のコーヒー相場が下落したことにより、販売価格及び粗利率が低下しております。

その結果、海外事業の売上高は5,769百万円と前年同期比32.5%の増加となり、売上総利益は620百万円と前年同期比7.5%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,867百万円増加の38,041百万円となりました。その主な内容は、期末日休日要因の影響に伴う売上債権1,070百万円の増加及び投資有価証券608百万円の増加です。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,365百万円増加の25,232百万円となりました。その主な内容は、期末日休日要因の影響に伴う仕入債務998百万円の増加及び借入金709百万円の増加です。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ497百万円減少の12,808百万円となりました。その主な内容は、利益剰余金394百万円及び繰延ヘッジ損益245百万円の増加に対し、非支配株主持分1,193百万円の減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表しております「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,188,837	5,078,901
受取手形及び売掛金	11,735,550	12,805,612
商品及び製品	7,103,011	7,736,118
未着商品	2,450,534	1,842,543
仕掛品	31,849	74,680
原材料及び貯蔵品	940,421	818,329
その他	754,540	842,388
貸倒引当金	△3,099	△2,601
流動資産合計	28,201,644	29,195,972
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,156,471	3,156,471
その他(純額)	3,369,603	3,500,515
有形固定資産合計	6,526,074	6,656,986
無形固定資産		
	203,144	341,415
投資その他の資産		
投資有価証券	715,925	1,324,047
その他	622,354	629,711
貸倒引当金	△98,248	△109,260
投資その他の資産合計	1,240,030	1,844,498
固定資産合計	7,969,250	8,842,900
繰延資産	3,334	2,846
資産合計	36,174,229	38,041,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,665,259	8,663,977
短期借入金	7,512,000	6,905,007
1年内償還予定の社債	56,000	56,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,460	1,560,260
未払法人税等	250,319	313,202
賞与引当金	207,617	296,448
役員賞与引当金	25,853	11,100
その他	1,902,843	2,223,138
流動負債合計	18,921,352	20,029,134
固定負債		
社債	148,000	120,000
長期借入金	2,321,360	3,378,830
退職給付に係る負債	412,494	386,286
役員退職慰労引当金	833	1,666
資産除去債務	129,424	129,686
その他	934,083	1,187,249
固定負債合計	3,946,196	5,203,718
負債合計	22,867,549	25,232,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	904,195	892,462
利益剰余金	8,898,559	9,293,036
自己株式	△102,394	△94,215
株主資本合計	10,323,560	10,714,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,958	196,339
繰延ヘッジ損益	△13,333	232,139
為替換算調整勘定	46,393	73,718
その他の包括利益累計額合計	197,019	502,197
非支配株主持分	2,786,100	1,592,184
純資産合計	13,306,680	12,808,865
負債純資産合計	36,174,229	38,041,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	28,358,494	30,780,000
売上原価	24,467,294	26,791,965
売上総利益	3,891,199	3,988,034
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	641,206	636,487
貸倒引当金繰入額	△22,409	10,514
報酬及び給料手当	830,884	886,230
賞与引当金繰入額	188,382	202,735
役員賞与引当金繰入額	12,901	11,100
その他	1,394,467	1,520,864
販売費及び一般管理費合計	3,045,433	3,267,932
営業利益	845,766	720,102
営業外収益		
受取利息	4,721	3,533
受取配当金	12,160	5,731
持分法による投資利益	-	4,197
受取賃貸料	10,831	12,697
為替差益	123,593	98,326
その他	26,215	34,111
営業外収益合計	177,522	158,597
営業外費用		
支払利息	36,448	46,707
持分法による投資損失	1,790	-
その他	9,020	8,547
営業外費用合計	47,260	55,254
経常利益	976,028	823,445
特別利益		
固定資産売却益	-	34
投資有価証券売却益	-	104,021
特別利益合計	-	104,056
特別損失		
固定資産除却損	0	1,379
特別損失合計	0	1,379
税金等調整前四半期純利益	976,028	926,121
法人税、住民税及び事業税	253,582	333,812
法人税等調整額	64,009	△5,623
法人税等合計	317,592	328,189
四半期純利益	658,435	597,932
非支配株主に帰属する四半期純利益	88,951	18,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	569,484	579,806

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	658,435	597,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,446	42,363
繰延ヘッジ損益	68,113	245,472
為替換算調整勘定	68,464	28,120
持分法適用会社に対する持分相当額	862	1,105
その他の包括利益合計	158,887	317,062
四半期包括利益	817,323	914,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	719,627	884,984
非支配株主に係る四半期包括利益	97,695	30,010

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。